

普及技術

分類名〔草地飼料〕

普 13	飼料用トウモロコシ奨励品種(早中生) 「Z-corn118」 「スノーデント 118R」
------	---

宮城県畜産試験場

要約

飼料用トウモロコシ品種「Z-corn118」及び「スノーデント 118R」は、早中生品種の中で、優良な収量性を示した。

普及対象：飼料用トウモロコシを作付けする土地利用型経営体（1,150ha）
 普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

市販されている流通品種の特性を把握することを目的とした県内適応品種選定試験を行った結果、安定した成績を示す品種「Z-corn118」及び「スノーデント 118R」の有用性が確認されたので普及技術とする。

2 普及技術

(1) 「Z-corn118」及び「スノーデント 118R」の主要な特性を表1に示す。

イ 「Z-corn118」について

(イ) 標準品種の「パイオニア 118 日」と比較して、乾物・TDN 収量は同等程度である。

(ロ) 耐倒伏性、耐病性は「パイオニア 118 日」と同等程度である。

(ハ) 赤カビ耐性は、「パイオニア 118 日」よりも優れる。

ロ 「スノーデント 118R」について

(イ) 標準品種の「パイオニア 118 日」比較して、乾物・TDN 収量は同等程度である。

(ロ) 耐倒伏性、耐病性は「パイオニア 118 日」と同等程度である。

(ハ) 赤カビ耐性は、「パイオニア 118 日」と同等程度である。

表1 主要な品種特性

商品名	早晩性	メーカーRM	乾物収量	TDN 収量	耐倒伏性	耐病性	赤カビ耐性
Z-corn118	早中生	118	○	○	○	○	◎
スノーデント 118R		118	○	○	○	○	○

凡例 ◎:優れる ○:並

※畜産試験場において5月上旬に播種し、発芽から収穫期までの調査結果(R01～R03)による。

3 利活用の留意点

(1) 栽培管理については、「牧草・飼料作物（県奨励品種）栽培の手引き」を基本とすること。

(2) 栽植本数は、「Z-corn118」は7,000本/10a程度、「スノーデント 118R」は7,000～7,500本/10a程度とし、1本仕立てにすること。

（問い合わせ先：宮城県畜産試験場草地飼料部 電話 0229-72-3101）

4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

飼料作物・牧草適応品種の選定(令和元～令和3年度)

(2) 参考データ

表2 初期生育および熟期

商品名	播種日	発芽日	発芽 良否 ¹⁾	初期 生育 ¹⁾	雄穂 抽出期	雄穂 開花期	絹糸 抽出期	黄熟期	播種～ 黄熟期 日数
Z-corn118	5/7	5/14	9.0	7.3	7/20	7/21	7/21	9/6	122.6
スノーデント 118R	5/7	5/14	8.7	5.8	7/21	7/22	7/20	9/7	123.1
パイオニア 118 日(標準)	5/7	5/14	9.0	6.3	7/21	7/22	7/21	9/7	123.2

1): 極不良1～極良9

表3 生育特性

商品名	稈長 (cm)	着雌穂高 (cm)	稈径 (mm)	倒伏 (%)	折損 (%)	有効雌穂 割合(%)
Z-corn118	284	158	25.9	0.0	2.5	76.4
スノーデント 118R	282	149	26.7	2.1	1.3	86.7
パイオニア 118 日(標準)	280	139	28.5	0.1	1.1	89.9

表4 収量性

商品名	生総重 (kg/10a)	総体 乾物率 (%)	乾物重(kg/10a)		乾物雌穂重 割合(%)	TDN 収量 ¹⁾ (kg/10a)	標準 対比(%)
			総体	雌穂			
Z-corn118	6,728	28.6	1,919	934	48.7	1,367	100.4
スノーデント 118R	6,855	27.6	1,894	1,043	55.0	1,382	101.5
パイオニア 118 日(標準)	6,434	29.4	1,874	1,011	53.8	1,361	100.0

1): 推定式 $TDN = \text{乾物茎葉重} \times 0.582 + \text{乾物雌穂重} \times 0.85$ により算出

表5 病虫害程度

商品名	ごま葉枯病 ¹⁾	すす紋病 ¹⁾	紋枯病(%)	根腐(%)	虫害 ²⁾ (%)	赤カビ(%)
Z-corn118	1.0	1.1	0.3	0.1	1.5	21.7
スノーデント 118R	1.0	1.7	0.8	0.1	0.6	43.0
パイオニア 118 日(標準)	1.2	1.0	0.8	0.3	0.7	52.0

1): 極不良1～極良9

2): 虫害による折損個体の割合

(3) 発表論文等

なし

(4) 共同研究機関

(一社)日本草地畜産種子協会